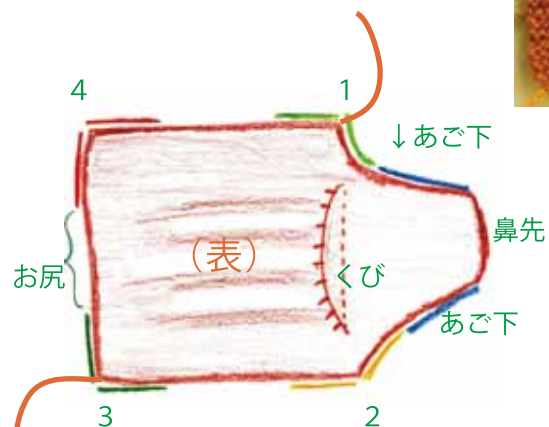


うりちゃんの編み上がり約9×6cm



作り方2：はぎ合わせてみましょう。
はぐ時は編み残しておいた糸を活用する！
編み上がったものの開いているところの頭側を縞模様に5mm重ねて
かがり首部分を繋ぐ。
上図の1、2、3、4、それぞれ角から端と端を1cmほどつぎ合わ
せてはぐ。3と4の間のお尻部分は、端をすくって縮める。
あご下部分もはぎ合わせて、鼻先ははがず、開けておく。

作り方4：耳と鼻先を編みましょう。
耳は0号の棒針でメリヤス編みで作ります。
体を編んだ茶色の糸のどちらかを使い1本どりで編みます。

- 6) 表編み2目1度1回して糸を30cmで切る。
 - 5) 裏編み2目1度2回
 - 4) 表編み2目1度1回、表編み2回、2目1度1回で4目にする
 - 3) 裏編み6目
 - 2) 表編み6目
 - 1) 裏編み6目
- スタート) 糸の端から30cmくらいのところから6目の作り目を作る。

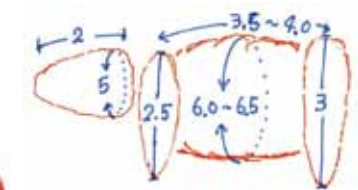
*4)～6)は
かぎ針を使って編むと楽でした！

耳の編み終りの糸をとじ針に通し、耳の付け根に向かっ
て端をからげて進み(図の青の糸)、付け根の端に針を入
れる(始めの糸と2本と合わせり2本になる。この2本
の糸を縫い付けに使用)。もう片耳も同じように作る。



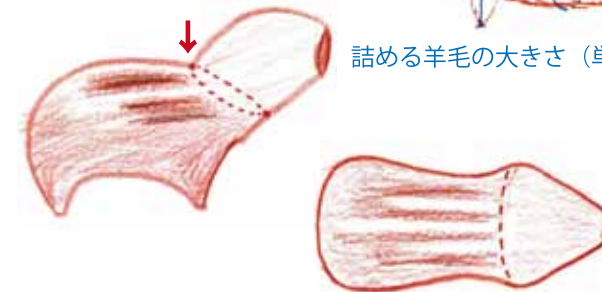
メリヤス編みの表側をふくらませて、
その面を頭にあて縫い付ける

作り方3：羊毛を詰めて形を作りましょう。
竹串をぬらしてから羊毛を巻き付け、固く巻き形を作り、竹
串のまま頭、足にきちんと詰めてから竹串を抜き取る方法で
詰める。
胴の部分は手で筒型に巻いた物を先に詰めてある前足どうし
の間に、後ろ足どうしの間に羊毛を少し挟み込むようにして
安定させる。胴をはぐ。



詰める羊毛の大きさ(単位はcm)

茶色の糸で背中のはぎ目↓で小
さく返し縫いして体の中を通り
あご下あたりに出し、また背中
に戻るを繰り返して、頭を引き
あげる。背中のくぼみをこの字
かがりして頭部と体のくぼみを
なだらかにし、太い首にする。



鼻先
直径0.7cm

鼻先はかぎ針2or3号で深緑の糸1本どりで編みます。糸端から20cmくらい
のところを輪を作り、その輪にくさり編み1回、細編み8回して輪の糸を引き、
丸にする。引き抜いてかぎ針をはずし、編み始めの糸と同じ長さで切る(耳と
同じように縫い付け糸に使う)。頭部の鼻先の穴にのせて、はり付けるように
縫い付ける。



しっぽは好みの糸で体からおしりの位置に出
し、小さく返し縫いしてからループを2回くら
い作り、ループの根元をくるくる巻き下がり、
その中を通して付け根に戻る。小さく返し縫い
し。体を通して糸を切る。
目、鼻の穴、ひづめは黒ひつじの糸で刺す。



↑ひづめ↑

テキストを無断でコピーすることはご遠慮ください。

一般社団法人スウェーデンひつじの詩舎

うりちゃんグループ 館鼻靖美 寺田裕子 渡辺哲子 横山由紀子